

坂本種一翁頌徳碑



有志の寄附金八万三千円をもつて、玉松村長と云われた元村長坂本種一翁の頌徳碑（高二米四二種、巾四米二四種）が玉松台上西側に建立され、去る七月十日関係者約二百人参列のもとに除幕式が盛大に行なわれました。

坂本種一翁頌徳碑 玉松台上に建立される

蓬田村中央公民館 児童館竣工する

去る五月より工事中の中央公民館及び児童館が竣工し、七月二十日関係者約六十名参集し落成式が行なわれた。本体工事一千四〇万円（泰興建設）電気工事七六万円（五十嵐電気）深井戸工事五〇万円（青森さく泉）、総工費一千百

若人よ 県民の幸せのために 立ち上がろうではありませんか

警察官募集について

最近における日本の経済成長、社会開発国民生活の日常にはめざましいものがあります。青森県においても、原子力母船、青函トンネル工事、東北縦貫道路新幹線、むつ小川原湖開発等に著々と地域開発の夢が進んでい



蓬田村公民館報
【蓬 門】第74号
発行所
青森県東津軽郡
蓬田村公民館
印刷所
第一印刷

九十二万円である。



玉松台上より眺見した中央公民館児童館

〈世帯と人口〉

世帯数	1,001
人口	男 2,537
	女 2,660
計	5,197
(45.7.31 現在)	

災害を受けたときは 税金の減免手続きを

集中豪雨や台風、火災などにより財産に損害を受けたときは、税金の面でも救済方法があります。たとえば、所得金額が二百万円以下の人が住宅や家財について、その価額の半分以上の損害を受けた場合や、それ以外の人で、住宅や家財の損害額が所得金額の割をこえるときは、手続きをすれば所得税が免除あるいは軽減されます。また、災害のため国税についての申告、申請、納付などをその期限までにできないときは、二カ月以内に限り期限が延長されます

警察には平和な社会を建設するという崇高な理想、犯罪と対決してこれを撲滅する正義、そして県民の信頼と期待にこたえて、治安維持を全うするという情熱があります。警察は若人にとつてもつともふさわしい、やりがいのある仕事です。

あなたの理想と情熱、正義を青森県民のために役立させて下さい。今募集中です、くわしいことは警察署・駐在所へ

「蓬門」原稿募集
「蓬門」の原稿を募集いたします。どんな事でもよいです。原稿を送つて下さい。

原稿送付先
蓬田村教育委員会

村民野球大会を行う

去る六月二十日蓬田中学校グラウンドにおいて、三十才以上村民野球大会を行なった。三十才以上といえども腕は相当のもの、好プレー、珍プレーが続出し、なごやかなうちに終了した成績は次のとおり
一位 郷沢部落
二位 阿弥陀川部落
三位 中沢部落
長科部落
四部落より参加しませんでしたので来年は全部参加下さるようお願いいたします。
尚、九月には村民野球大会を行いますので、全部参加下さるようお願いいたします。



『農業用機械の能率をあげ、働きやすくするため土地改良資金(年利三分五厘)で土地盤整備を。』

農業の近代化をはかるため農家の皆さんは、トラクター、稲刈機(バインダー、コンバイン)や、乗用車、小型トラック等どんどん導入している現状で、さらに近い将来田植機も大量に導入されるようです。

しかし、折角機械を入れても田畑の条件が整備されていませんと「土地改良をしたいが資金がどうも」と心配される方も多いと思いますが、土地改良を行なう方には必要です。

このようなことをなくするためにはやはり、土地盤の整備がまず必要です。



七月十三日 蓬田中学校運動会にて声援する父兄席



七月二十九日の二日間、子ども会リーダー研修が玉松台にてキャンブ活動を」とし なわれた



七月三十日 中央公民館にて水難救助法の講習(講師自衛隊)



八月二日 蓬田中学校グラウンドにて第十一回村民体育大会の入場式

は低利でしかも長期償かんの融資制度があります。

この資金は有利な資金で、これを有効につかっている例としては隣の秋田県で、今年度米の生産調整に伴ない、集団休耕田のうち補助事業以外にこの資金拾億余円を借入して八〇〇余ヘクタールの

は物整備を夏期施行するほか、その他の土地改良事業を実施しております。

土地改良事業による効果は著しいもので、実施した農家の方々から非常によこばれています。従

つて、借金をして事業を実施しても毎年の償か金は、事業効果の一部ですみ、差引き年々所得がふえることとなります。

今すぐ隣近所の方々と相談し、今秋稲刈後工事に着手するよう準備をすすめてみてはどうでしょうか。融資の内容は次のとおりですが、くわしいことは役場産業経済課にお気軽にご相談ください。

一、融資される主な事業

国の補助対象とならない小規模な次の事業。

かんがい排水(溜池、水路、揚排水ポンプ、取入堰の新設改修。)

畑地かんがい。区画整理。客土農道。索道。開畑。畦畔整備。維持管理(受益面積に、一〇アール

当り三、〇〇〇円を乗じた範囲内の事業費で、毎年経常的に支出される費用を除く。)

二、借り入れできる方

土地改良区、農協、その他農業を営む方であれば誰れでもよい。(共同施行、個人、等は農協から転貸をうける方法が簡単でよい。)

三、借り入れできる金額および償かん方法

事業費の八割以内で、最低が一〇万円以上であること。償かん期間は二五年以内(据置五年以内を含む)元利均等年賦か半年賦、年利率三分五厘(日歩九厘六毛に相当)

四、取扱っているところ

蓬田村農業協同組合。詳しくは産業経済課までおいで下さい。

蓬田村章について

久慈 登世雄

明治百年祭に当つて、有意義な蓬田村憲章と共に村章も設定せられ、私の思案したものが採用され光栄の至りと思つて居ります。

その作成に当つて私の意図した意義について書いて見たいと思ひますが、村民各位の御賛同を得ることが出来れば誠に幸甚と存じます。

蓬田村の頭文字カタカナの「ヨ」を凶案化して止むことのない発展を意味して三本の尖つた線にしました。一番下は過去、中は現在、上は未来とどこまでも伸び行く蓬田村の姿とし、そのいづれもが、玉松精神の団結融和（この外たぐさんの意味があります）……を基として発するものとして、五月二十八日付の東奥日報の「オラが自慢」にも掲載されて居りました

が、名松玉松を表わす松葉で囲んで何事も平和円満の中にと考えました。

其の昔何時この村が始まつたかわかりませんが、ずーつと大昔から営々として、玉松精神そのもの

九月十五日は「敬老の日」。

この日だけ、お年寄りのことを考えると、ここでは老人食について考えてみましょう。

老化をおくらせ、長生きの食事——それは、高血圧の予防として、体重を適正に保ち、ストレスに強くなるようにする、この三つの条件が一番必要なことです。

- ① 高血圧の予防は肥満を防ぐために食べ過ぎ

の中にづいて来て、それが日魯戦争に「不帰生還」の誓いによつてはつきりと表われたものと思ひます。近い中に郷土誌も出来る上とのこと案しみの一ツでもありますが、明治百年祭に顕彰、表彰された多くの人を中心にして過去の堅実な発展が遂げられ現在更に発展をつづけて居りますが、我々はその立場立場、持ち場持ち場で一層の努力をしなくてはと思ひます将来、更に未来は県下に、日本

に、世界に宇宙までも突進するよいうな夢と希望を託せるような次代をになう青少年の確固たる教育、育成に心がけるべきと思ひます。その一ツとして明治百年祭に村長から、各子供会に会旗を授与されたことも大きい意義があるものと思ひました。

祖の汗と努力で立派に礎き上げてくれたことを心から深く感謝し、我々は常に自信と誇りをもつて大きく伸び行く蓬田村にして行きたいものと思ひます。



老化防止の食事

をしない。

- ② 塩からいものは少なく、うす味の食事になれる。

- ③ 肉のあぶらをやめて、液体

- ⑤ 野菜、果物はたつぷりと、ビタミンをとるとともに、便秘を予防する。

次に体重を適正に保つために

の植物油や魚のあぶらにす

- ④ 蛋白質—ミルク、あつさり

した肉、魚、豆腐などは充分に。

は食べすぎないことですが、蛋白質と野菜、果物を欠かさな

いようにしなくてはなりません。

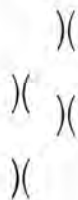
野菜や果物は、カサが大きく

て胃袋をいっぱいにする事はできません。

食べすぎがちなかたは、野菜や果物をたくさんめしあがつてください。

それは、ストレスに強いからだをつくるため、ビタミンCの補給にもなることです。

(NHKラジオ第一「みんなの茶の間」から)



豊水放談

田ボがあるから作るんだ

▲ 地球の屋根、八、八四八m エベレストの絶頂に日の丸が立てられた。

去る五月十五日中央五大新聞は一勢にトップ一頁を飾りその関連記事として全紙面を埋めたといつてもよい位だった。

数多い登山隊はあろうが、この壮挙をなしとげたものは世界でも数えるしかない。

それを日本の登山家によってなしたことは賞讃に値いするであらう。

アメリカの月着陸の壮挙に似たものである。

▲ 「生命をかけてなぜ山に登るのか？」

「山がそこにあるからだ」
これは有名なイギリスの登山

家マロリーの言葉で、今なら誰れでも知っている。

今回の日本人の登山でも二人の犠牲者を出している。

毎日新聞の社説「エベレスト登頂を喜ぶ」と題し、その一節にイギリスの有名な登山家エリック・シブトンが「ヒマラヤ登山者は夢みつつよじ登る病人」と定義づけている。と書いてい

る。目的も理屈もない「栄光」人間とはそういうものが必要かも知れない。

危険を冒し未知の世界を探究し新らしき創造こそ進歩の女神ともいえよう。

▲ 前置はさておき、本論に戻る。

昨年来米の生産過剰による生産調整、減反、補償金等で今尚基礎作業中である。

農民は好むと好まざるにかかわらず食管制を守るためとて協力した。

既に昨年来米備闘争夏の陣で外壕は余義なく埋られ、更に減反による内壕は埋められ、本丸だけかろうじて死守しているのが現在の姿である。

政府（狸爺）農民とのにらみ合ったままの休戦状態が暫らく続いた。

いよいよ六月に入り弱勢にむち打ち、四十五年度産の米価値上げ闘争の幕はきつて落された

が、平河城（自民党本部）の守りは固く、逆攻撃を受け、食管本丸にいつ火の手が上るかとき

の問題となった。涙をのみ和陸申入れを受け、ビビたる飴玉をシャブリ宮脇総

大将兜をぬがざるを得なかつた。

貧すれば鈍するか。

▲ 労勢の悲しさ、必要以上の休耕、減反の白旗をかざし相手の軍門に降る農兵の数は予想以上となった。

歴史をみても、新らしい時代を創るためには幾多の犠牲と激動はあつた。

犠牲と云う日本語は、デモクラシーの今日あり得ない。主権在民は泣く。平等と共存が実在する限りは……。

落ち忍び他に道を求める者、時勢の流をみつめ黙念としている者、さまざまであらう。

踏みとどまり、自己の根城を死守し、再起を志さず者もあろう。

これが資本社会の断面図だと望観する者があるなら憎みたい。

その具体的対策こそ急ムであらう。

「苦節十年」と云う言葉がある。

父祖伝来の田地を守る者が勝つか他に転業する者が勝つか現在では解るまい。

▲ 地球上に土がある限り米を作らねばなるまい。主食とする米食が消えない限り、アジア民族としては米生産者の必要を認めねばなるまい。

営農も大型化しつつある。真剣に取組む姿勢も必要であらう。

深酷に陥入るときもあろう。その半面、「田圃があるから作るんだ」

楽な気持で対処する後継者こそ実力ある後継者と云えよう。

トゲトゲしい毎日では、イライラ病になる。

イライラする後継者は、一家の和を欠く基となる。

(一九七〇、六、一五)

* * *

* * *